

今年、戦国武将毛利隆元が永禄6年(1563)安芸国佐々部(安芸高田市)で急死してから450年目にあたります。隆元は、父毛利元就や弟吉川元春・小早川隆景の活躍の陰に隠れて、自ら「名将の子には不運な者が生まれる」と嘆くなど、およそ戦国武将らしからぬ謙虚な人柄であったためか、武将としての評価は必ずしも高くはありません。

しかし、国人領主から戦国大名に成長した時期の毛利家の当主は、元就ではなく隆元でした。陶・大内・尼子・大友氏との戦いを指揮して、中国地方を文字通り東奔西走したのも隆元でした。

少年のころ数年間人質として山口で過ごした隆元は、禅僧竺雲恵心を心の師として交わり、古典や芸能にも親しみ、高い教養と厚い信仰心の持ち主でした。

この講座では、毛利家文書などを読み解きながら、隆元の人間像に迫るとともに、隆元が果たした役割について再評価したいと思います。

(この講座は県立広島大学との連携により、高度で専門的な学習機会を提供するレベルアップ型講座として実施するものです。)

広島学セミナー

県立広島大学との連携講座

9/24(火)～
10/29(火)
18:00～20:00

全6回

定員：100名

(定員を超える場合は抽選)

毛利隆元を 再評価する

※詳細は裏面をご覧ください。

- 会場：広島市まちづくり市民交流プラザ 北棟5階 研修室A・B(広島市中区袋町6番36号)
- 対象：広島市内に在住か通勤・通学の人
- 受講料：3,000円(6回分) 納付方法は別途通知します。
- 申込方法：はがき(一人1枚※往復はがきではありません)に、①講座名、②氏名(フリガナ)、③郵便番号、④住所、⑤電話番号を記入し、下記の宛先へお申込みください。なお、電話・FAXでの申込受付はおこなっていません。
〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
(財)広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワーク部管理課
「リカレント講座(県立広島大学)」係
- 申込期間：平成25年8月1日(木)～9月2日(月)【必着】 期間外の申込みは受付できません。
※抽選結果の発送は9月9日(月)頃を予定しています。
- 問合せ先：(財)広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワーク部管理課
TEL(082)541-5335 FAX(082)541-5611
- 主催：(財)広島市未来都市創造財団、広島市

※申込みの際にお寄せいただいた個人情報については、県立広島大学と共有しますが、事業運営以外の目的には使用しません。

広島学セミナー 毛利隆元を再評価する

1 毛利隆元の生涯

日時 9月24日(火) 18:00~20:00

講師 県立広島大学人間文化学部

教授 秋山伸隆さん

毛利隆元は、大永3年(1523)元就の長男として生まれ、天文16年(1547)頃家督を相続、父元就の後見を受けながら、毛利家を中国地方の西半分を支配する戦国大名へと成長させました。第1回は、講座全体のイントロダクションとして、隆元の生涯を辿りながら、その人物像を紹介します。

2 毛利隆元の文化的環境

日時 10月1日(火) 18:00~20:00

講師 県立広島大学人間文化学部

教授 樹下文隆さん

毛利隆元は、青年期の一時期を大内氏の人質として山口で過ごしました。山口は、室町幕府の中核にいた代々の大内氏の本拠地で、京文化の華開く町でした。山口での3年間で培われた隆元の文化的素養について考えます。

3 毛利隆元が禅僧竺雲恵心から学んだもの

日時 10月8日(火) 18:00~20:00

講師 県立広島大学人間文化学部

教授 松井輝昭さん

竺雲恵心は臨済宗東福寺派の高僧で、安国寺恵瓊の師としても知られる人物です。毛利隆元は陶晴賢との決戦をまえにして、竺雲恵心に現世と来世の救いを委ねています。第3回では、毛利隆元が竺雲恵心から何を学び、政治家としても成長したのかを考え、彼の生き方を戦国思想史に位置付けたいと思います。

アクセス

- 市内電車：袋町電停から徒歩約3分
- バス：袋町バス停から徒歩約3分
- アストラムライン：本通駅から徒歩約6分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

※自転車・バイクの方は、地下に公共駐輪場(有料)がございます。

4 毛利隆元と厳島神社

日時 10月15日(火) 18:00~20:00

講師 宮島学センター

助教 大知徳子さん

天文23年(1554)の防芸引分の後、厳島の支配者は毛利氏となりました。その翌年の厳島合戦の後から、毛利氏は社領の寄進などによる本格的な祭礼復興にとりかかります。第4回は、厳島神社と毛利氏の関係について整理するとともに、隆元が為した事業を再評価します。

5 毛利隆元ゆかりの品々

日時 10月22日(火) 18:00~20:00

講師 毛利博物館

館長代理 柴原直樹さん

若くしてこの世を去った毛利隆元の遺品は、古文書を除けば思いのほか少なく、現在毛利博物館に残されている隆元の遺品は、貴重なものといえます。これらの品々から、戦国武将としての隆元の実像に迫りたいと思います。

6 毛利隆元の再評価

日時 10月29日(火) 18:00~20:00

講師 県立広島大学人間文化学部

教授 秋山伸隆さん

毛利隆元の自筆書状や覚書を読み解きながら、父元就や弟元春・隆景との関係をめぐる隆元の内面に迫るとともに、毛利家が国人領主から戦国大名へと成長していく過程で隆元が果たした政治的な役割について、再評価を試みたいと思います。

